

「生物多様性国家戦略 2010」の概要

第1部：戦略

いのちと暮らしを支える生物多様性

- ・すべての生命の存立基盤
- ・将来を含む有用な価値
- ・豊かな文化の根源
- ・暮らしの安全性

【課題】4つの危機

- ・人間活動や開発による危機
- ・里地里山など人間活動の縮小による危機
- ・人間により持ち込まれたものによる危機
- ・地球温暖化による危機

【目標】

中長期目標（2050年）

生物多様性の状態を現状以上に豊かなものとする

短期目標（2020年）

生物多様性の損失を止めるために、2020年までに、

- ・生物多様性の状況の分析・把握、保全活動の拡大
- ・生物多様性を減少させない方法の構築、持続可能な利用
- ・生物多様性の社会への浸透、新たな活動の実践

中長期目標・
短期目標の
設定

【長期的視点】 100年先を見据えたランドデザイン

概ね平成24年度までの重点施策

4つの基本戦略

社会への浸透

生物多様性の社会への浸透

地域レベルの取組の促進・支援

人と自然の関係の再構築

希少野生動植物の保全施策の充実

自然共生・循環型・低炭素社会の統合的な取組の推進

森・里・川・海のつながりの確保

海洋の保全・再生の強化

地球規模の視野を持った行動

COP10の成功

SATOYAMA イニシアティブの推進

科学的な基盤の強化

科学と政策の接点の強化

経済的視点の導入

途上国の支援

国内施策の
充実・強化

国際的な
取組の推進

第2部：行動計画

・約720の具体的施策

・35の数値目標